



会長	山田 正
幹事	武川 毅
会報	村上 武彦 高田 次雄 森田 峯男
例会場	ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
例会日	毎週木曜日 12:30~13:30
事務所	ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2717回例会 2019.11.14 No.19

本日の出席率

・本日の出席率 84.6%

ニコニコボックス

- ・山田正会長 佐藤静市会員の年季の入ったスピーチにご期待致します。
- ・武川毅幹事 調停委員で、佐竹孝行会員が最高裁判所長官賞を受賞。おめでとうございます。
- ・佐藤静市会員 本日は私のスピーチです。拙い話ですが宜しく。
- ・布施孝之会員 佐藤静市会員のスピーチを楽しみに。
- ・飯塚仁哉会員 佐藤静市会員のスピーチ、楽しみにしていますよ。
- ・佐藤幸一会員 佐藤静市会員のスピーチにご期待致します。
- ・江川元徳会員 香港の情勢を憂慮。四つのテストに照したら“OK”でしょう！平和になります。
- ・八谷郁夫会員 佐藤静市会員スピーチ楽しみです。
- ・菅野幸一郎会員 佐藤静市会員は、とても読書家なので奥の深いお話を楽しみにしております。
- ・高田次雄会員 佐藤静市会員のスピーチに期待して。
- ・遠藤光則会員 佐藤静市会員のスピーチにご期待します。今年いっぱい席替えをしませんので、宜しくお願いします。
- ・菅原慶一会員 佐藤静市会員のスピーチに期待して。
- ・村上武彦会員以下 本日のスピーチに期待して。
佐々木崇会員 千葉吉男会員 佐竹孝行会員
佐々木源悦会員 岩渕正彦会員 熊谷敏明会員
高橋利光会員 布施孝尚会員 小野寺伸浩会員
富士原裕子会員 及川昭宏会員 杉田広仁会員
佐々木淳会員 千葉正宏会員 伊藤幸子会員
佐藤哲弥会員 二階堂恭子会員 後藤和人会員

志賀昭洋会員

以上、ありがとうございました。

会長要件 山田正会長

先週は例会を欠席致し、大変申し訳御座いませんでした。佐藤敬喜財団委員長のフォーラムも拝聴出来ずとても残念です。

さて、天皇陛下即位行事「国民祭典の儀」が今月9日に行われ、翌10日には「祝賀御列の儀」で天皇陛下即位パレードが執り行われました。令和の幕開け、天皇陛下即位行事の祝事に国民一同が、日本の明るい未来を期待せずにはおれません。

先週の理事会で青少年奉仕委員会の志賀昭洋委員より、青少年野球大会の詳細について説明がありました。今年度の大会は11月16日(土)~17日(日)の2日間、2会場での開催となり、理事会の承認をいただき、実施に向け進めることとなりました。

当日は、開会式でポリオ根絶活動の紹介を致しますので、参加される会員はポリオTシャツの持参をお願い致します。

又、今月は、八谷郁夫パストガバナーのご指導のもとに作成された新定款の準備やクリスマス例会、12月の佐沼RC総会準備など行事は多岐にわたり、最も多忙な月となります。関係者皆様のご協力、よろしくお願い申し上げます。

幹事報告 武川毅幹事

・ガバナー事務所より

1. 19-20年度ガバナー月信表紙について(写真投稿のお願い)

募集期間 11月18日(月)~1月31日(金)

2. 11月のロータリーレート 1ドル=108円

・宮城石灰工業(株)より

「宮城石灰工業(株)、創業百十年・設立五十年のあゆみ」が届く

・登米市社会福祉協議会より

「ハッピー・メリー・クリスマスパーティー」案内
日 時 12月8日(日) 10:00~

場 所 ホテルニューグランヴィア

・台北西門RCより、会報、名簿が届く

各委員会報告

・青少年奉仕委員会(志賀昭洋委員)

11月16日(土)~17日(日)に少年少女野球大会が開催されます。11月16日(土)、午前7時30分に開会式を執り行います。会員の皆様は7時に集合して下さい。

・環境保全委員会(武川毅幹事代行)

11月18日(月)、資源回収を行います。ご協力のほどよろしくお願い致します。

今週のスピーチ

佐藤静市会員

先程、テーブルの上に、登米懐古館のパンフレットを置きました。昭和36年に開館した懐古館は、令和元年9月に武家屋敷通りの一角へ新しく建てられました。まだ見られていない方は、お出かけになられたらと思います。

ここ3ヶ月位に感じたこと気付いたことをまとめてみましたので、雑感としてお話ししたいと思います。

先の台風19号、21号につきましては、これ程の被害発生になるうとは誰もが思っていなかったと思います。10年程前にお客様のところを廻っており、登米の同年輩の方が「まさかの坂もある」と話しました。その方は、北海道出身で苦勞され、登米町に事業所を作られました。歳がやや近いということで、いろんなことを教えていただきました。その方と話をすると勇気づけられました。「まさかの坂もある」と「会社も一歩一歩身の丈に合わせてやらないとね」と。

今回の台風では、死者、行方不明者は110余名にもなりました。犠牲となられました方々には心からご冥福をお祈り申し上げます。

改めて、自然災害の猛威の大きさに驚きました。又、恐れを感じました。最近の台風の大きさは、年増す毎に風速も強く、雨量が多くなっているのではないのでしょうか。皆様も重々承知のことだとは思いますが、これは地球の温暖化による気候変動が原因で、夏の猛暑等にも現れていると思います。台風19号は、風が弱かったので安心しておりました。果樹農家は救われたと思っておりました。近在の登米、東和、中田等にもリンゴ等の生産をしている方がいます。いつも台風がくると、どちらかと言うと稲よりも果樹農家の方の心配が頭をよぎります。ところが、降雨量がかなり多く驚きました。私の記憶では、宮城県の平均降雨量は230mmでした。

素人考えですが、この雨が40~50日早く降るよう

であれば、各農家の田はまだ稲に水が必要な時期で、田面に水を平均5~7cm保水する事により、貯水するのが水田であり、大郷町の吉田川の決壊は防げたのでは、又、丸森町筆甫地区の土石流災害もなかったのでは、あるいは、もう少しかるく済んだのではというようなことを思ったりしました。

皆さんご存知の様に水田は貯水によりダムの役割もします。

土石流の一つの例ですが、木を伐採し用材を搬出しますが、用材とならない分を(5%~10%位)を山に置いてきます。その残材が山から水路(沢)に流れ下り、流木が水路に横たわり、水路が塞がれ、水が道路を流れ、屋敷に上がり、床下・床上浸水になることもあります。今回はそういったことが丸森の筆甫地区にありました。そういった中で、これからは日本の農業は、日本の食糧と地域の自然環境を守る、大切な一次産業であると考えます。

しかし、現状は目前にTPP(環太平洋パートナーシップ)協定による農産物の価格競争に生き残る厳しさの中で、農家人口は他産業にやむなく流出し、減少傾向にあるようです。

今後、全ての産業に於いてICT(ロボット技術)の活用により、省力化がかなり加速することと思います。農業も農業機械の進化により、農水省の基本政策でスマート農業の実現のため、普及、指導に向けて進んでいるようです。テレビのニュースの中でも、宮城県内でも田植機は人が乗らなくてもいいような機械が使用されはじめているようです。ただし人は乗っている様です。やはり、まだ不安があるのでしょうか。

先般のアメリカと日本での貿易交渉で、肉・穀物の輸入枠、金額共にかなり厳しい結果で日本が譲歩せざるをえない状況、その陰では、やはり一番国に貢献している工業製品の陰にかくれ、農業の方はつつい追われているようです。

日本の食糧自給率は、平成30年で39%、令和元年で37%に低下したとの発表もあります。東京の食糧自給率は10%未満と話す評論家がおりました。身近な例で、毎日の食事で納豆、野菜、果物、肉、魚他、多品目にわたり外国産が多く目に入ります。納豆に於いても国産の大豆、遺伝子組み換えのない大豆の表示があるものを買うようにしておりますが、日本産の安全、安心の食物が減少傾向にあります。今後、貿易の不均衡等で外交交渉に負けるようなことがあります。又、この数字が小さくなっていくのではないかと考えております。

笑われるでしょうが、昔は「大和の国」日本は、農耕民族に始まり、自給自足の営みの変遷を経て現在にきている。近年(4~5年前)知った言葉(諺)に「歴史に眼をつむる者は未来に盲目になる」というのがあります。ほんとうの話だと思います。

米価は上がった、下がったと大変なものです。昭和以後の米買上価格を表にして見ましたので、興味のある方はご覧になって下さい。

— 以下、紙面の都合上割愛させていただきます。